

## 艶金retricotと大垣桜高校のコラボレートファッション



### Step 01

#### 授業

大垣桜高校の服飾デザイン科の生徒たちに「retricot」について、「艶金のSDGsの取り組み」について、「大垣桜高校とのコラボレーション」についての3つのテーマに分けて授業を実施。



TSUYAKIN 染色工場内に、使われない白生地や、染め上がったものの衣料品にならない生地がありました。それらの生地は品質としては問題ないのに、最終的には廃棄・焼却処分されCO<sub>2</sub>が排出されてしまいます。私たちは、資源の廃棄・CO<sub>2</sub>の排出を減らすために、これらの生地を衣料品にアップサイクルするブランド「retricot」を立ち上げました。retricotが大切にしたいのは「着心地の良さとサステナビリティ」

\*アップサイクル本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること。



OGAKISAKURA HIGH SCHOOL 大垣桜高校「服飾デザイン科」では、ファッションに関する専門的な知識・技術を身に付けファッション業界において、自ら考え提案、分析し、総合的にマネジメントできるファッションクリエイターやビジネスリーダーを目指して学習しています。



### Step 02

#### デザインの考案依頼と選出

授業で説明したことに加え、アップサイクルを実践するために、生徒たちに艶金で発生する廃棄されてしまう生地を使ったデザインの考案を依頼。考案してもらったデザイン28点の中から10点を選出。



艶金は一昨年より、大垣桜高校に出向いて特別授業を実施しています。高校生の皆さんに、繊維業界で起こっている廃棄問題を伝え、アップサイクルの必要性を学んでもらっています。地域の企業と高校生がコラボレートし洋服を開発・販売することで、衣料品の廃棄問題に一石を投じたりアップサイクルの可能性を訴える取り組みを行っています。

### Step 03

#### 打ち合わせ

商品の細かな仕様について選ばれたデザインを提案した生徒と艶金で打ち合わせを実施。



### Step 04

#### サンプル作成

打ち合わせで決定した内容を基に製品サンプルを作成。



### Step 05

#### ファッションショー

デザインしてもらった生徒たちに製品サンプルを着用してもらい、イオンモール大垣様内にある、艶金主催の展示ブース「SDGsの森」でファッションショーを開催。ショーの中で10作品の中から2作品の商品化を発表しました。



#### サイドスリットワンピース



さらっとした生地感が気持ちよく、1枚でラクに着用いただけるワンピース。

大垣桜高校の生徒のコメント

ラクに着られることをデザインする時のポイントにしました。帽子やアクセサリーとのコーディネートで自分らしさも出せるシブいデザインは外出にも使えます。

#### ギャザーチュニック & トランペットパンツのセットアップ



ハイウエストで切り替えたチュニックと、フレア感が特徴のトランペットパンツ。こちらはセットアップ商品です。

大垣桜高校の生徒のコメント

家の中でもおしゃれをしたいという気持ちをデザインに表現しました。高めのウエストは脚長効果を期待してデザインしました。体型カバーできるチュニックのフレアや長めのそでもポイントです。

※詳しくはretricotのHPにてご覧いただけます。商品はBASE、Creemaで販売中です。

HP



BASE



Creema



finished product